

平成13年3月26日(月) 宮城県知事定例記者会見

○宮城県の県立高校将来構想について

ー福島県で4月から共学化する県立高校があるが、その取り組みが宮城県の県立高校将来構想に何か参考になる点はあるか。

📍宮城県の県立高校将来構想について

Q

4月からいわき支局に行くことになりました。1年間ありがとうございました。それで最後に一言。磐城高校・磐城女子高、また安積高校・安積女子高が4月から共学化になるが、その取り組みが宮城県の県立高校将来構想に何か参考になる点はあるか。

浅野知事

ぜひいわきに行ったらその辺を教えてくださいと私も思いますけれども、我々も基本的に、中間報告の中では県立高校男女共学というふうに再編されるべきだということに出しています。ただ、それは今挙げられた福島でもそうなんですね。随分早い段階でやりましたけれども、例えばきのう甲子園に出た安積高校だってこの4月から初めて共学になると。それなりのステップを踏んできている。そのステップの中にやはりいろんな議論もあつたでしょうし。ということだと思っんですね。

我々もそうだと思います。全部男女共学にすべきとって、例えば来年すぐとかできる相談でもない、いろんな意味でもね。ですから、やはりかかわっている人たちの理解、納得ということもあるでしょうし、現実的ないろいろな、例えば校舎をどうするかとか、財政的なところもあつたり、いろいろそれはクリアしていくべき状況があるんだと思っんです。当たり前のことですね。ですから、男女共学に限らず県立高校の再編という問題は一つの方向というのがあります。やはりそこに向けてのプロセスというのはこれからも続くと私は思っんです。そうでなければ何か非常に納得できない、おかしい、不満だということそのまま引きずってやっていくということはいいいことだと思いません。ただ、何にも方針を出さないでどうするかねというの、これまた無責任だとは思っいますよね。だから、ちゃんとした、今まで中間案まで出ました。今度本式のあれが出ていきますけれども、そういうことは示しながら具体的な再編という中ではやはり関係の方々の認識も、御了解というか、それも得ながら進めていくんだと思っいます。

その男女共学に関しては福島はある時点においては宮城県と極めて似たような状況にあつたんですけども、一歩二歩先に行っていますので、その意味では参考になると思っいます。詳しいこと知りませんので、ぜひいわき支局に行かれまして紙面に載らないような情報も教えていただければ幸いです。

宮城県広報課編集